

第1回

R6年度 緑のコーディネーター 育成支援講座

かわら版

市民の緑のまちづくりを支援する他、地域の緑をつくり盛り上げ発信する等の役割を担う「緑のコーディネーター」を発掘・育成する・・・そのための第一歩として、講座を開催しています。この「かわら版」では、第1回の様子をお届けします。

ボランティア団体の運営について

2024.11.21 (木) 18:30~20:00

講師 榎原 正利 氏

令和3年度からスタートし、今年度で4年目となる本講座。今回は平日の夜にもかかわらず13名の方にお集まりいただきました。

講師を務めていただいたのは安城市や岡崎市で活動を行っている間伐こもれび会の榎原正利様でした。

②講義（間伐こもれび会の活動紹介等）



安城市や岡崎市で森林の間伐整備活動だけでなく、積み木づくりを行い、地域の保育園などに贈呈を行っている間伐こもれび会の榎原さんより講義がありました。

間伐こもれび会は、会員数は約50名で、公共や民間へ助成金の申請なども積極的に行い、工具などの購入する活動費を捻出しています。また、積み木を作成する中で、発生する木くずやヒノキ水なども有効活用し、資源化に努めているそうです。参加者からは、たくさんの質問もあり、榎原さんの長年のボランティア団体運営の経験やノウハウを学ぶ貴重な時間となりました。

間伐こもれび会とは主な活動

◆ 主な活動① 森林の間伐・整備活動 年間約50回(週1、月4回)



令和5年度参加人数：延べ 393人。 間伐材出荷量 50.5

間伐こもれび会とは主な活動

◆ 主な活動③ 地域保育園への安城市積み木の贈呈活動



安城市・岡崎市の公立保育園、全園に贈呈。



本年度は、能登半島被災地の保育園に慰問・贈呈を計画している。

これは、あいち森と緑づくり都市緑化推進事業交付金を活用した事業です。